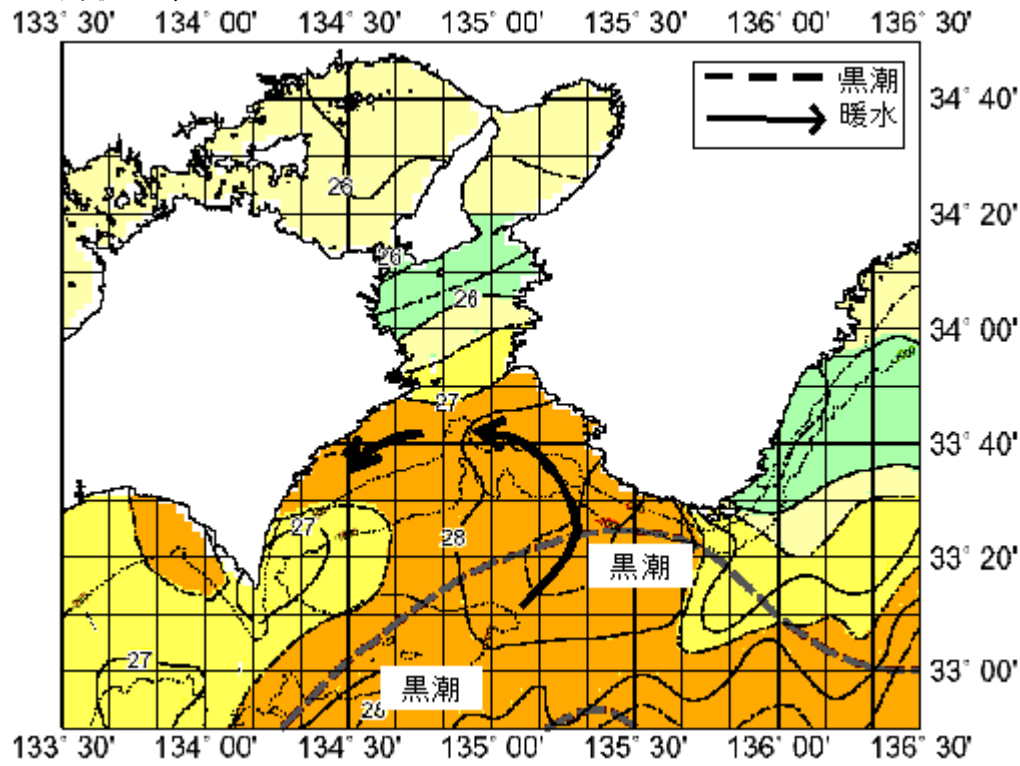


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.09.01)を示した。

黒潮は室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は28℃台である。

表面水温は播磨灘が26℃台、紀伊水道内部が25～26℃台、外域が26～28℃台である。

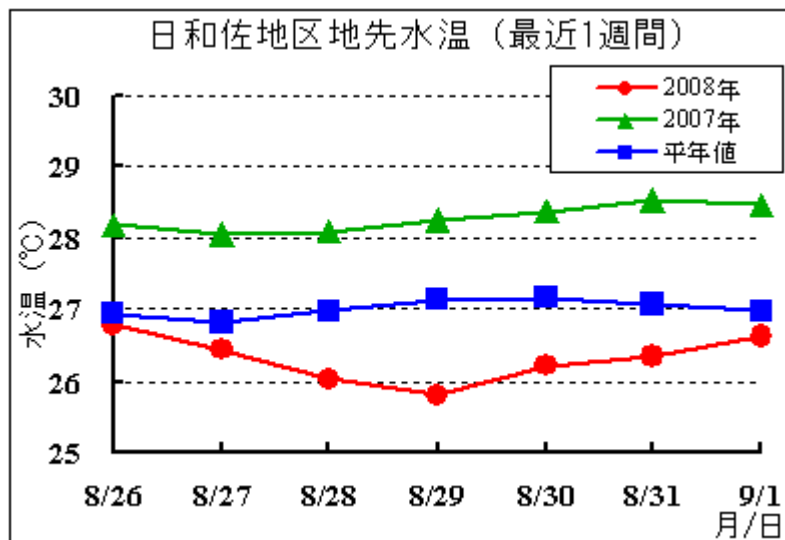
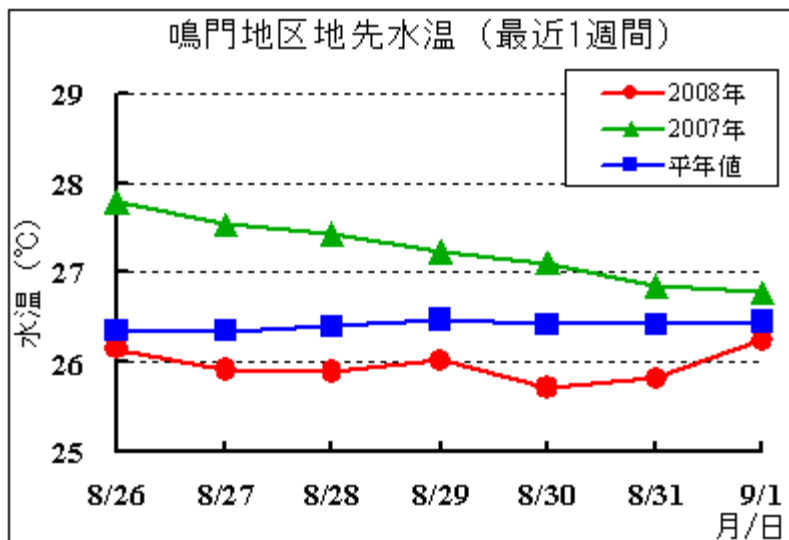
徳島県沿岸の表面水温は、気温の低下に伴い低下している。紀伊水道外域は、潮岬沖で黒潮が接岸しているため、和歌山県側から、黒潮系水が流入している。徳島県海部沿岸は、和歌山県側からの黒潮系水流入の影響を受け、下り潮になっている。

漁業調査船「とくしま」が8月29日に行った海部沖合海区の海洋観測では、水温は表層～20m層が「平年並み」の26.7～27.6℃、30m層が「やや高め」の25.8℃、50m層が「平年並み」の22.4℃、100m層が「やや低め」の17.4℃であった。

水温	水深						塩分	水深					
	表層	10m	20m	30m	50m	100m		表層	10m	20m	30m	50m	100m
今年値	27.6	27.5	26.7	25.8	22.4	17.4	今年値	33.7	33.8	34.0	34.1	34.3	34.6
平年偏差	-0.1	0.4	0.4	0.5	-0.4	-0.8	平年偏差	0.3	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
前年偏差	-1.8	-1.3	-1.1	-0.7	-1.7	-1.9	前年偏差	-0.1	-0.1	0.0	0.0	0.0	-0.1

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の25.7～26.2℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並み」の25.8～26.8℃、牟岐地区は「やや低め」～「やや高め」の25.8～27.9℃で推移した。



## 2. 漁況の経過

**小型定置網:**海部沿岸で、アオリイカが0.3トン(1日1隻あたり18kg)、カマス類が1.0トン(同47kg)、カンパチが0.2トン(同12kg)、小・マメ主体にマアジが4.3トン(同181kg)、マルソウダが0.5トン(同12kg)水揚げされた。

**釣り:**海部沿岸で、イサキが0.3トン(同68kg)、紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.7トン(同19kg)水揚げされた。

**パッチ網:**紀伊水道で、シラスが14.9トン(同150kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 08月25日～08月31日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻あたり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	16	290	18	
		カマス類	22	1,031	47	
		カンパチ	17	211	12	
		マアジ	24	4,338	181	小・マメ主体
		マルソウダ	42	498	12	
釣り	紀伊水道	イサキ	4	273	68	
		タチウオ	36	690	19	特大主体
パッチ網		シラス	99	14,850	150	

### 特異事項:

紀伊水道で、ユウレイクラゲが出現している。

### 週間予報:

黒潮は、室戸岬でやや離岸、潮岬で接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の26℃台、日和佐地先で「平年並み」の26℃台で推移する見込み。

### 他県情報:

和歌山県の定置網で、マアジが0.9トン(1日1隻あたり34.6kg)、釣りで、スルメが6.9トン(同49kg)、イサキが0.7トン(同5.5kg)、パッチ網でシラスが0.9トン(同35kg)水揚げされた。

\*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上